

結核

现在，人们都在注视着新型流感的蔓延情况，可是我们要在这一期里，提醒您关注另一个不容忽视的传染病 — 结核。

请问大家对“结核”这种疾病，有着多大程度的了解呢？4月，日本报出

某艺人结核病发病的新闻，骤然间成为人们广为关注的话题。结核病，是由结核菌引发的传染病。由于90%以上都发于肺部，因此也可以将结核说成是肺结核。

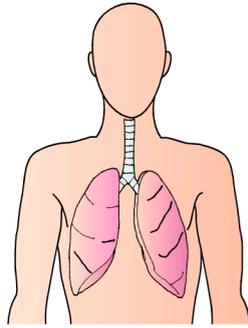
近几年，中国每年都有150万人感染并成为新的结核病患者，现在中国共计450万人罹患结核病，其中死者人数已超过13万，据说结核病今后将会成为中国的一大社会问题（引自4/1中国媒体的报道）。

○感染与发病

症状严重的结核病人，在咳嗽或打喷嚏时，结核菌便会在空气中扩散，并不知不觉地被旁边的人吸入体内，从而感染结核。据说结核菌与流感病毒不同，若与病人短接触的话，一般不会立刻感染。反之如果与结核病人一同起居，或是像在电梯里那样，长时间地处于密封、不透气的状态，便可能感染结核。并且，不见得一感染就会出现症状。据说结核病的发病率为10%，90%的人即使结核菌侵入自身体内，也会通过免疫功能（人体对于进入体内的异物进行攻击、破坏的能力），将病菌封锁、歼灭。因此，在这样的情形下，很多人都不会感觉到自己感染了结核菌的。

但是，当婴幼儿感染结核菌时，由于免疫功能还不够完善，因此无法遏制病菌在体内的繁殖和激增，有时会导致发病的情况。

侵入人体的结核菌，如果没有导致发病，那么有的会永远存于人体之内，直到携菌者死去；也有的在数年或者数十年之后，待携



結核

いま、世の中では新型インフルエンザに注目が集まっていますが、今回は、もう一つ、忘れてはいけない感染症を取り上げましょう。

「結核」という病気について、みなさんはどのくらいご存知ですか。日本では4月に芸能人が肺結核を発症したことがニュースになり、にわかに人々の関心を集めました。結核は結核菌によって引き起こされる感染症です。90%以上は肺に発症するので、結核すなわち肺結核と思ってもよいようです。

近年、中国では毎年新たな結核患者が150万人見つかり、患者数は全体でおよそ450万人、死者も毎年13万人に上るため、深刻な社会問題になっているそうです。（4/1中国新聞社報道）

○感染と発病

結核は、重症の結核患者がせきやくしゃみをした時に結核菌が空気中に撒かれ、周囲の人が知らずにこれを吸い込んで、体内に入れ込むことで感染します。インフルエンザのように短時間傍にいただけですぐ感染することはほとんどないといわれています。一緒に生活したり、エレベーターのように換気のない狭い部屋で長時間一緒にいたりすれば、感染する可能性があります。しかし、感染しても必ず発病するというわけではありません。発病率は10%程度といわれています。約90%の人は、結核菌が体の中に入ってきてても、免疫（異物の侵入に対し攻撃する力）が働いて、封じ込めます。この場合、ほとんどの人は、自分が感染していることに気が付きません。

しかし、赤ちゃんや乳幼児が結核菌に感染した時は、免疫の働きが十分ではなく、菌の増殖を抑えることができなくなり、発症することがあります。

結核を発症しなかった場合、体内で眠ったまま生き続けている菌は、死ぬまでそのままの場合もあるし、数年～数十年後にその人の免疫力が低下した時に、菌が暴れ出して発症する

菌者抵抗力下降时张露牙爪，显现凶形。事实上大部分成人结核病患者，都是以这种形式发病的。也就是说，结核病，是在感染病菌以及抵抗力下降这两个要素相互重叠时，才会导致疾病发作。另外，据说结核病症还容易在免疫力低的高龄人群，还有罹患糖尿病、胃溃疡、做过胃切除手术、罹患肾脏疾病以及有着强烈应激反应的人中间发作。

○症状

结核病发作时，往往会持续出现全身乏力，食欲不振，37度左右的低烧、胸口疼以及盗汗症状。病情进一步发展的话，还会咳嗽，可是咳嗽时有的人有痰，有的人则是干咳无痰，还有的人会出现血痰情况。如果置之不理的话，病菌就会在肺腔内繁殖增多，将肺叶啃噬出空洞，而在空洞中繁殖的病菌，又会混进痰内，随着咳嗽或喷嚏被带出体外。最终，随着时间的推移，病菌更会侵入其它各个器官，对人体组织进行广泛的破坏，从而引发严重病症。

○诊断与治疗方法

通过对咳出的痰做化验，或是照X光，都可以对是否发病，以及病情的发展情况进行诊断。第一次接受结核病治疗的人，据说只要服用6~9个月的复方药，就可以将疾病根治到基本上不会复发的程度。症状严重的人，需要住院进行隔离治疗，但如果症状较轻的话，定期去医院接受医治也是可能的。可怕的是，吃上一、两个月的药以后，咳嗽和低烧症状出现缓解时，患者会认为自己的病已经好了，于是擅自停药。这样一来，被遏制变弱的病菌便会死灰复燃，再次繁殖，从而导致结核病卷土重来。此时实现东山再起的病菌已经有了抗药性（细菌等病原体为了存活而生成的、对于药物的抵抗能力），所以即使重新服药，也会失去作用，从而使治疗变得十分困难。

据悉，最近各国不断出现具有极强抗药性的新型结核病例，感染并发病的患者正处于增加趋

ことがあります。成人の結核の大部分はこのような形で発症します。つまり結核の発病とは、結核菌の感染と免疫力の低下という2つが重なりあって、はじめて起こります。免疫力の低下は高齢化によっても、また糖尿病や胃潰瘍、胃切除、腎疾患、強いストレスなどでも起こるそうです。

○症状

結核を発病した場合は、全身倦怠感、食欲不振、37度前後の微熱、胸の痛み、寝汗などの症状が続きます。病が進行するにしたがって咳が出るようになります。咳は痰を伴うことも伴わないこともあり、また血痰が出ることもあります。放っておくと肺の中で菌が増殖し、肺の中に空洞ができるとともに、空洞の中で増殖した菌は、痰の中に混じって、咳やくしゃみによって吐き出されるようになります。やがて時間の経過とともに、菌は様々な器官も侵しはじめ、広範に組織が破壊され、重篤な症状を起こします。

○診断と治療

痰の検査や胸部X線写真等を通じて、発病の有無や病気の程度を診断します。初めて治療を受ける人なら、複数の薬を6~9ヶ月服用すれば、ほとんど再発の可能性がないほど完全に治るといわれています。重症患者は一定期間隔離入院する必要がありますが、軽度であれば、通院治療も可能です。怖いのは、薬を飲みはじめて1、2ヶ月すると、咳や微熱の症状は改善されるので、ここで治ったと自分で判断して薬の服用を止めてしまうことです。弱っていた菌は再び増殖をはじめ、症状がぶりかえします。一旦勢いを取り戻した菌は、また薬を飲みはじめても、薬に対して耐性（細菌などの病原体が薬に対する抵抗力を備えること）ができて効かなくなり、治療が困難になります。最近、各国で薬剤耐性の新型の結核が発生し、これに感染、発病した患者が徐々に増えているようです。

勢。

○如何预防

日本推行在出生后4~6个月期间，为新生儿接种一针BCG疫苗的预防方法。接种此疫苗的目的是，将毒性十分微弱的结核菌植于人体内，引起轻微的局部性拟结核症状反应，从而使人体生成今后能够阻击结核病菌真正侵入的抗体。BCG疫苗已被证明在幼儿结核病的预防上，有着显著的作用，因此被广泛应用于全世界。但是，对于成人结核病，它的预防覆盖率只有50%左右。不过成人在携菌的情况下，可以通过对日常生活的改善〔戒酒、戒烟、尽可能减少精神压力、多晒太阳（直晒日光可杀死结核病菌）来提高免疫力，从而降低发病的几率。

○感染者增多背景

在日本，已经感染（携菌）的人群和还没有感染的人群，处于共生共存的状态，结果，“在已经感染的人群中发病”和“在没有感染的人群中感染・发病”这一可能性，可谓无处不在。

近几年，日本每年大约有25000人罹患、并成为新的结核病患者。乍看，这似乎不算什么大数字，然而与欧美各国相比，患者却是在翻倍地增加。而且，占新病患之四成的、大约一万名病人，属于被检查出其咳痰中带有结核病菌的重症患者。最为可怕的是，这样的感染者不知道自己已经发病，待症状严重到不支时，才赶紧往医院跑。这时，他们有可能已经将结核病菌传染给了其家人及周围的人。正如“咳个不停等于亮红灯”一样，要是咳嗽、咳痰以及低烧持续两个星期以上的话，为慎重起见，我们建议您最好是去医院做一下检查。

(H)



○预防

日本では生後4~6ヶ月までにBCGワクチンの注射を1回受けるように勧められています。毒力をぐっと弱めた結核菌を接種して、軽い結核のような反応を局所に起こさせておき、本当の結核菌が後から入って来た場合に対抗する免疫をつけておく、というのがBCG接種のねらいです。BCGは特に子供の結核の予防に有効なことが証明され、世界で広く用いられています。しかし、成人に対して、肺結核の発病を予防する効果は50%程度とされています。成人の場合、すでに感染しているとしても、日常生活の工夫（禁酒、禁煙、ストレスを避ける、結核菌は日光に弱いので日に当たるよう努める等）で免疫力を高め、発病の危険を下げるすることができます。

○感染者増加背景

日本の社会は、既に感染（胸に菌を持つ）したグループとまだ感染していない2つのグループが共存しています。その結果、「既に感染しているグループでの発病」「感染していないグループでの感染→発病」という危険が常にあります。

近年、日本では毎年25000人程が新たに発病しています。一見少ないようですが、欧米諸国に比べると数倍に上ります。しかも、新規患者の約4割に当たる1万人弱の患者は、痰の中に結核菌を出す重症の状態で見つかっています。一番恐いのは、このように感染者が結核を発症していることに気づかず、症状が重くなってからようやく病院に駆け込むケースです。その時にはすでに家族をはじめ周りの人に感染させている可能性があります。「長引く咳は赤信号」といわれるように、咳、痰、発熱などが2週間以上続く場合、念のため病院で診察を受けることをお勧めします。

(H)